

2022年度  
中京大学 教職センター活動報告

2023年10月  
教職センター

## <報告内容>

---

### はじめに

- |                             |       |
|-----------------------------|-------|
| 1. 免許取得者数                   | P. 3  |
| 2. 教育実習の状況                  | P. 7  |
| 3. 介護等体験の実施状況               | P. 9  |
| 4. 教員採用試験結果                 | P. 10 |
| 5. 各種教員採用試験支援内容             | P. 12 |
| 6. 教職センター委員会・教職センター会議等の活動記録 | P. 14 |
| 7. その他資料                    | P. 15 |

## はじめに

---

これまでの3年間、コロナ禍における教職課程運営を余儀なくされましたが、2023年5月の「第5類感染症への移行」によって、ようやく全面的な対面授業の再開、教育実習の巡回指導の再開など、本来あるべき教職課程の運営が行える見込みとなりました。このことを学生の皆さんと共に喜びたいと思います。

さて、2023年1月に東京都教育委員会が公表した「教員確保策充実の方向性について」では、大学3年生による教員採用試験の受験を可能にするなど、「教員採用試験の早期化、複線化」が具体化されています。これが呼び水になって、今後、各地において、「採用試験の前倒し」や「教育実習の実施時期の見直し」が議論されるでしょう。本学においても、これまでの在り方を見直し、具体的な対応が必要となります。

本報告にあるように、今年度の教員免許取得者数（実人数）は、前年度より10名ほど多い218名でした。過去5年は漸減でありましたので、徐々に増加となりました。他方で、教員採用試験の結果は、現役・既卒者合わせて190名となり、10年以上続いた200名の水準を下回る結果となりました。来年度に向けて、状況の分析やサポートの在り方を見直しなどを進める必要があると認識しています。

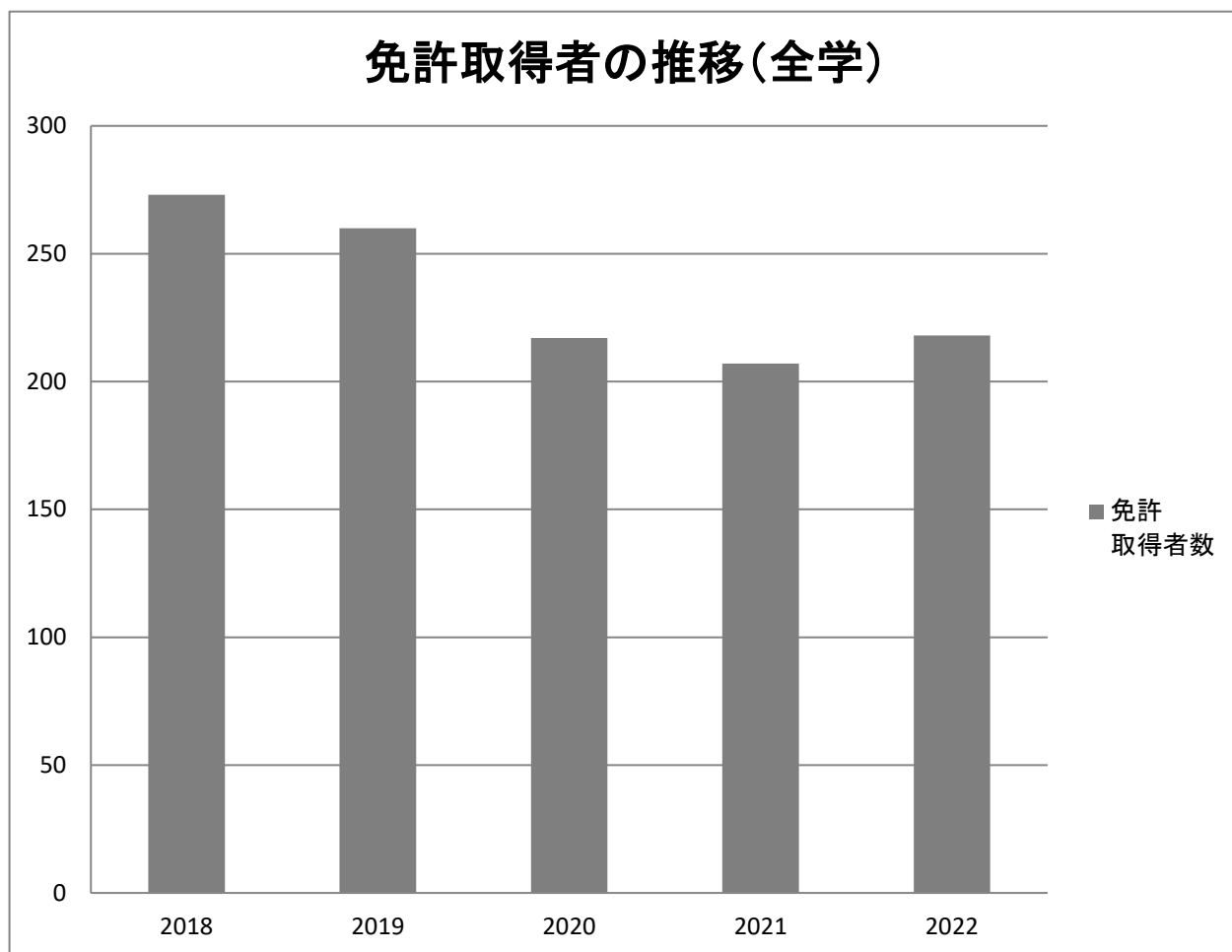
2023年は、学園創設100周年、大学創設70周年の記念の年となります。教職センターにおいては、円滑な教職課程の運営と充実した各教職科目および学生サポートによって、教職を目指す学生の「夢の実現」、さらには、大学のさらなる発展に寄与していきたいと考えています。

2023年3月31日

教職センター長 久野 弘幸

## 1. 免許取得者数

### 1-1. 免許取得者の推移



年度	2018	2019	2020	2021	2022
免許取得者数	273	260	217	207	218

昨年度より免許取得者数は若干増加する結果となったが、依然教職課程履修者数は以前と比べると減少したままである。減少理由としては、教職課程履修を容易なものとして捉えず、本当に教職に就く意思があるかをガイダンス等で指導していることと、教員の労働実態を懸念する「教員離れ」によるものと思われ、「教員離れ」は全国的に起こっている社会問題でもある。ただし、最終的に教師になりたいと本気で考えている一定数は例年大きく変わっていない。新型コロナウイルス感染症の影響も収まりつつある今、教師の魅力を伝えつつ、引き続き学生へのきめ細かな支援を継続していく必要があると考える。

## 1-2. 免許種類別取得者数

学部		2022年度	
免許状の種類	件数	教科別内訳	
		教科	件数
中学校教諭1種免許状	208	国語	11
		社会	48
		保健体育	143
		外国語(英語)	6
高等学校教諭1種免許状	228	国語	13
		地理歴史	24
		公民	31
		書道	3
		保健体育	143
		工業	0
		商業	8
外国語(英語)	6		
計	436		
申請者の人数(実人員)		218名	

※免許申請数をもとに算出

大学院		2022年度	
免許状の種類	件数	教科別内訳	
		教科	件数
中学校教諭専修免許状	4	国語	0
		社会	0
		保健体育	4
		外国語(英語)	0
高等学校教諭専修免許状	4	国語	0
		書道	0
		地理歴史	0
		公民	0
		保健体育	4
外国語(英語)	0		
計	8		
申請者の人数(実人員)		4名	

※免許申請数をもとに算出

### 科目等履修生 ( ):社会人内数

中学校教諭1種免許状: 保健体育5件 (4件)  
 高等学校教諭1種免許状: 国語1件、外国語(英語)1件、保健体育5件 (5件)

実人員7名 (5名)

## 教員免許状取得者数及び件数について

学部学科	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
文学部 日本文学科	実人数	15	18	15	8	6
	中一種免（国語）	13	16	13	8	5
	高一種免（国語）	15	17	15	8	6
	高一種免（書道）	3	1	1	5	1
文学部 言語表現学科	実人数	6	4	10	3	7
	中一種免（国語）	3	4	8	3	6
	高一種免（国語）	6	4	10	3	7
	高一種免（書道）	2	0	3	0	2
文学部 歴史文化学科	実人数	13	9	11	11	10
	中一種免（社会）	11	7	11	11	10
	高一種免（地歴）	12	7	10	11	10
国際英語学部 国際英語学科 国際英語キャリア専攻	実人数	8	7	3	2	4
	中一種免（英語）	7	7	3	2	4
	高一種免（英語）	7	7	3	2	4
国際英語学部 国際英語学科 英語圏文化専攻	実人数	6	5	2	0	0
	中一種免（英語）	3	5	2	0	0
	高一種免（英語）	6	5	2	0	0
国際英語学部 国際英語学科 国際学専攻	実人数	1	2	0	3	2
	中一種免（英語）	1	2	0	2	2
	高一種免（英語）	0	2	0	3	2
国際教養学部 国際教養学科	実人数	0	3	2	0	2
	中一種免（社会）	0	3	2	0	1
	高一種免（地歴）	0	2	2	0	2
	高一種免（公民）	0	0	1	0	1
心理学部 心理学科	実人数	2	1	1	2	3
	中一種免（社会）	2	1	1	2	3
	高一種免（公民）	1	0	1	1	1
現代社会学部 現代社会学科 社会学専攻	実人数	11	9	6	6	8
	中一種免（社会）	10	9	6	6	8
	高一種免（公民）	11	7	6	2	6
現代社会学部 現代社会学科 コミュニティ学専攻	実人数	10	4	2	2	11
	中一種免（社会）	7	4	2	2	11
	高一種免（公民）	9	2	2	1	10

## 教員免許状取得者数及び件数について

学部学科	区分	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
法学部	実人数	6	9	4	2	3
法律学科	中一種免（社会）	6	9	4	2	2
	高一種免（地歴）	4	9	4	2	
	高一種免（公民）	4	5	3	2	3
総合政策学部	実人数	3	3	5	0	5
総合政策学科	中一種免（社会）	2	3	5	0	4
	高一種免（地歴）	1	2	5	0	4
	高一種免（公民）	1	2	4	0	3
経済学部	実人数	5	7	5	4	8
経済学科	中一種免（社会）	4	5	4	4	6
	高一種免（地歴）	3	4	3	4	6
	高一種免（公民）	3	3	2	4	5
	高一種免（商業）	2	1	1	2	2
経営学部	実人数	10	5	3	4	6
経営学科	中一種免（社会）	3	3	2	0	3
	高一種免（地歴）	4	2	3	1	2
	高一種免（公民）	3	2	1	1	2
	高一種免（商業）	5	2	1	3	6
工学部	実人数	2	0	1	0	0
電気電子工学科	高一種免（工業）	2	0	1	0	0
スポーツ科学部	実人数	97	85	82	72	76
スポーツ教育学科	中一種免（保健体育）	97	85	82	71	76
	高一種免（保健体育）	97	85	82	72	76
スポーツ科学部	実人数	66	71	54	70	59
競技スポーツ科学科	中一種免（保健体育）	66	71	54	67	59
	高一種免（保健体育）	66	71	54	70	59
スポーツ科学部	実人数	12	18	11	18	8
スポーツ健康科学科	中一種免（保健体育）	12	18	11	18	8
	高一種免（保健体育）	12	18	11	18	8
免許状取得者数（実人数）		273	260	217	207	218

※法学部 高一種免（地歴）… 2019年度に課程取り下げ

## 2. 教育実習の状況

### 2-1. 学部別教育実習者数

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
実施者数	302名	277名	218名	241名	267名

#### 2022年度

学部	時期	前期 (5~7月)	後期 (8~12月)	合計人数	備考
日 本 文 学 科		6	1	7	
言 語 表 現 学 科		7	0	7	
歴 史 文 化 学 科		11	0	11	
国 際 英 語 学 科 国際英語キャリア専攻		5	0	5	
国 際 英 語 学 科 英語圏文化専攻		0	1	1	
国 際 英 語 学 科 国際学専攻		2	0	2	
国 際 教 養 学 科		2	0	2	
心 理 学 科		4	0	4	
法 律 学 科		3	0	3	
総 合 政 策 学 科		6	0	6	
経 済 学 科		9	1	10	
経 営 学 科		6	2	8	
現 代 社 会 学 科		19	1	20	
電 気 電 子 工 学 科		2	0	2	
ス ポ ー ツ 教 育 学 科		67	22	89	
競 技 ス ポ ー ツ 科 学 科		63	17	80	
ス ポ ー ツ 健 康 科 学 科		10	0	10	
総 計		222	45	267	

※科目等履修生、小学校への教育実習数、教職辞退者を除く

本年度の教育実習は、大半が例年通り春学期に行われた。新型コロナウイルス感染症感染拡大のため、実習期間を変更する学校も若干見られたものの、本学教員の巡回指導実施を含め、少しずつ本来の教育実習の形に戻っているように思われる。今後も状況に注視しながら学生が安全に教育実習を実施できるよう努める。



## 2-2. 都道府県別・校種別教育実習者数

2022年度

都道府県	教育実習者数
愛知	143
三重	23
岐阜	22
静岡	10
北海道	1
青森県	0
岩手県	0
宮城県	0
秋田県	0
山形県	0
福島県	1
茨城県	1
栃木県	1
群馬県	0
埼玉県	1
千葉県	0
東京都	0
神奈川県	0
新潟県	3
富山県	1
石川県	7
福井県	3
山梨県	0
長野県	5
滋賀県	3
京都府	2
大阪府	8
兵庫県	5
奈良県	4
和歌山県	3
鳥取県	0
島根県	1
岡山県	1
広島県	1
山口県	0
徳島県	0
香川県	3
愛媛県	1
高知県	2
福岡県	4

都道府県	教育実習者数
佐賀県	0
長崎県	1
熊本県	1
大分県	1
宮崎県	3
鹿児島県	1
沖縄県	0
総計	267

2022年度

校種	教育実習者数
中学校	107
高等学校	160
総計	267

### 3. 介護等体験の実施状況

---

#### 3-1. 介護等体験(社会福祉施設)実施者数

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
実施者数	294名	251名	270名※	265名※	283名※

※2020年度～2022年度実施者数は代替措置を行い、認定を受けた学生数

2022年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、介護等体験を文部科学省が特例的に定めた代替措置にて現地体験の替わりとした。

#### 3-2. 介護等体験(特別支援学校)実施者数

年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
実施者数	294名	252名	270名※	265名※	283名※

※2020年度～2022年度実施者数は代替措置を行い、認定を受けた学生数

社会福祉施設と同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、介護等体験を文部科学省が特例的に定めた代替措置にて現地体験の替わりとした。



年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
<b>全合格者数</b>	<b>219名</b>	<b>237名</b>	<b>216名</b>	<b>209名</b>	<b>190名</b>
中学校	69名	79名	90名	79名	72名
高等学校	48名	36名	35名	35名	22名
中学校・高等学校	4名	9名	9名	3名	9名
小学校	64名	73名	60名	72名	61名
特別支援学	32名	40名	22名	20名	26名
その他(兼教・校種不明)	2名	0名	0名	0名	0名

※公立学校のみ

現役・既卒の合計で毎年約200名の合格者を輩出しており、その合格自治体は東海圏以外にも、関東・関西圏も含めて全国に渡っている。しかし2022年度は2021年度に比べ、全合格者数が約20名増減少している。合格者数減少の原因としては、教員採用試験受験者の減少が一番あげられる。例年と同様に併願促進を各指導会で行っていたがコロナウイルス感染症感染拡大のため、志望の県以外での受験を控えた学生がいたことによることも考えられる。また、高等学校の受験者数減少に伴い、高等学校の合格者数が減少したことが特徴として挙げられる。

#### 4-2. 教員採用試験結果(現役学部別)

( )実数

2022年度	文			心理	法	経済	経営	工	国際英語			総合政策	国際教養	現代社会	工		スポーツ科			大学院	合計
	日本語	言語表現	歴史文化	心理	法律	経済	経営	電気電子工	国際英語 キャリア	英語圏文化	国際学専攻	総合政策	国際教養	現代社会	情報システム	情報メディア	スポーツ教育	競技スポーツ	スポーツ健康		
高校	1																			1	2
中学	1	4(2)	2				1		5(3)		1			2			8(6)	2(1)			27(20)
中・高		1		1					1								1				3
小学校														6(3)			21(14)				27(17)
小・中																					
特別支援																	2(1)				2(1)
合計	2	5(3)	2	1			1		6(4)		1			8(5)			32(22)	2(1)		1	61(43)
名古屋/豊田	18(14)											42(28)						1			

※大学院 スポーツ科学研究科1名

( )実数

2021年度	文			心理	法	経済	経営	工	国際英語			総合政策	国際教養	現代社会	工		スポーツ科			大学院	合計
	日本語	言語表現	歴史文化	心理	法律	経済	経営	電気電子工	国際英語 キャリア	英語圏文化	国際学専攻	総合政策	国際教養	現代社会	情報システム	情報メディア	スポーツ教育	競技スポーツ	スポーツ健康		
高校	2(1)									1	1						2				6(5)
中学	6(5)	1	2(1)						1								14(11)	4	1		29(24)
中・高																					
小学校			2(1)											3(2)			26(14)				31(17)
小・中																					
特別支援																	1				1
合計	8(6)	1	4(2)						1	1	1			3(2)			43(28)	4	1		67(47)
名古屋/豊田	16(12)											51(35)									

( )実数

2020年度	文			心理	法	経済	経営	工	国際英語			総合政策	国際教養	現代社会	工		スポーツ科			大学院	合計
	日本語	言語表現	歴史文化	心理	法律	経済	経営	電気電子工	国際英語 キャリア	英語圏文化	国際学専攻	総合政策	国際教養	現代社会	情報システム	情報メディア	スポーツ教育	競技スポーツ	スポーツ健康		
高校	6(5)	1						1		1							5(4)				14(12)
中学	3	2(1)	1			1	1					1	1				13(10)	3	1		27(23)
中・高																					
小学校			2(1)	2(1)	1									1			29(18)				35(22)
小・中																					
特別支援																	1				1
合計	9(8)	3(2)	3(2)	2(1)	1	1	1	1		1		1	2				48(33)	3	1		77(58)
名古屋/豊田	23(19)											54(39)									

2019年度	7(5)	3(2)		1	5(2)	1	1		2	1	1	1	1	6(5)			35(23)	11(7)	2	2(1)	80(56)
名古屋/豊田	24(18)											54(37)						2(1)			

※大学院 体育学研究科1名(複数合格)

2018年度	7(6)	4(3)	1	3(2)	3(2)				3(2)	3				10(7)			43(35)	1		2(1)	80(63)
名古屋/豊田	24(19)											54(43)						2(1)			

※大学院 法学研究科1名

傾向としては、スポーツ科学部(教科:保健体育)が例年通り最多であり、文学部(教科:国語)も例年通り合格者が出ているが数が減少している。また、2022年度は国際英語学部(教科:英語)の合格者が増加したことが特徴として挙げられる。校種で見ると、中学校・小学校の合格者が例年通り多く出ている(本学では通信教育連携プログラム(玉川大学)により小2種免が取得できる)が、高等学校の合格者数が減少した。

## 5. 各種教員採用試験支援内容

教員採用試験対策として、筆記試験および人物評価試験の対策を行っている。教職センターでは、本学を卒業された学校教員（校長職）経験者を指導官として招き、個別での相談形式、グループでの教員採用試験対策等の指導、また教員となったときに第一線で活躍することができる人材を育成することにも力を入れ、実際の学校現場での課題や児童・生徒との接し方などをはじめ、様々な支援や指導を行っている。コロナ禍になり2022年度も実施を控えているが、卒業生に対しても、4月勤務開始後の6月頃をめどに勤務校へ訪問し、卒業生激励を行っている。勤務が始まり精神的にも悩みを抱え始めたところに激励することで、卒業生のモチベーションをあげるだけでなく、各学校現場にも本学の教員育成にかかわる強いメッセージを伝えるようにしている。

また、2022年度からは、新型コロナウイルス感染症の感染対策を十分に行いながら、全てではないが、ここ数年中止せざるを得なかったコロナ禍以前の学生支援内容を再開することができた。今後は、全ての支援を対面で実施することを目指しつつ、コロナ禍を経験したことで得ることができたオンラインでのリアルタイム配信やオンデマンド配信、学内情報配信ツールの使用等の知識を活かしながら、状況に合わせた支援を行っていききたい。

### (1) グループ指導会

人物評価試験対策を中心として授業の空き時間に複数の学生が集まって学ぶ指導会。指導者として学校教員経験者が入り、学習状況に応じてアドバイス等を行っていく。教員の資質にかかわる学びも行いながら、人物評価試験の枠を超えた支援も行っている。教員採用試験対策として3年生秋学期、4年生春学期まで行い、教員採用試験を中心とした指導を実施している。4年生秋学期からは、試験対策ではなく学校教員として教壇に立つ上で必要な指導を行う。学級担任としての事務、評価と評定について、授業経営について、障害のある児童生徒や問題行動への対応について等、現場で即戦力となる人材の育成を目的に指導している。

2022年度については、本来の対面による指導を主体に、感染症対策を徹底しながら面接指導、グループ指導を行った。上記の通り、人物試験対策が中心ではあるが、教員採用試験の過去問題を解く時間も設けることで、筆記試験対策の習慣づけにもつながっていると考えている。

### (2) 小論文個別添削

低学年から体系的に行われるガイダンス形式の講義で小論文の書き方を学び、実際に自身で書き上げた願書等の自己PR文や小論文過去問題、さらに提示した予想問題に対して書き上げてきた文章を1対1の個別形式で指導している。個人に合わせたきめ細かい指導を行い、合格できる小論文の書き方を身につけさせる。時期としては、3年生秋学期から教員採用試験2次試験直前までの期間実施する。また、個別で見つかった課題を全体にフィードバックする機会としてグループ指導会を利用し、合わせて小論文模擬試験も行っている。

2022年度は、対面での実施を中心に行いつつも、状況に合わせてメールでの添削など、柔軟な対応を行った。

### (3) 卒業生による学習会

名古屋市教員採用試験対策（1次・2次）や、その他自治体向け教員採用試験対策（1次・2次）として卒業生となる現任教員を講師としてお招きし、人物評価試験を中心に指導を行っている。それぞれ、1次対策は5月、2次対策は8月に行っている。これには在学生だけでなく卒業生も参加することができる。本番を意識した緊張感のある中で行われ、講評はかなり厳しいが、より完成度の高い仕上がりとなって本番を迎えることができています。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点や、学生そして指導をくださる講師の安全を最優先にしつつ、2部制での実施や、全体会を取りやめるなど感染拡大防止に努めながら、名古屋市教員対策・その他自治体向け教員採用対策ともに、5月・8月の学習会を対面で実施することができた。

また、3月には名古屋市と愛知県の教員採用試験に合格をし、教員になる学生に対して、卒業生の現任教員による合格者研修会を行い、教師としての心構えを再度確認し教師として社会に送り出すことができた。

#### (4) 教員採用試験合格者報告会

教員採用試験合格者による体験談報告会を各キャンパスごとに行う。合格者より試験勉強方法や取り組み方、モチベーションの維持、部活動との両立などを報告してもらい、個別面談も通して次年度教員採用試験を受ける学生にアドバイスを行っている。特に個別で相談できるため、専門教科の勉強方法などとても参考となったという後輩の感想も例年多い。また複数の自治体への受験方法など受験テクニックに関するアドバイスもあり、これまで意識していなかった受験自治体や受験勉強方法を知ることができた。

#### (5) 教員採用試験対策講座

小論文を除いた筆記試験対策として、一般教養、教職教養、そして一部専門教養試験の対策講座を実施。2年生秋学期よりまずは基礎学習としてスタートし、3年生で年間を通してより深く学び、4年生で過去問題を中心とした対策を行っている。また、長期休暇後等に計画的な模擬試験を実施しており、学生自身の学習進捗やその成果を図ることができるように工夫している。

#### (6) その他

学校ボランティアの紹介、教育機関や学校との連携事業等を紹介するガイダンスは低年次より行い、進路選択として教職に就く意思の決定や学校現場経験を積めるよう早期から支援を行っている。また進路相談等、個別の対応も随時行っている。特に近年では、学校ボランティアへの参加を促し、早くから経験を蓄えるように指導している。

数年、感染症の影響により、多くのボランティアが中止または延期となっていたが、一部教職インターンシップや学校ボランティアが再開となり、参加する学生が多くみられた。なお、意欲ある学生は翌年度にも参加する意思があり、学校現場に出る前までに少しでも経験をしたいという強い思いを持っている。

6. 教職センター委員会・教職センター会議等の活動記録

(1) 教職センター委員会

回	日時	場所	議題
1	2022年4月27日(水)	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職センター委員について</li> <li>・教職センター目標設定について</li> <li>・愛知教育大学との教員養成の高度化に関する連携協定について</li> <li>・2021年度教員免許状取得者数及び件数について</li> <li>・2021年度教員採用試験合格者数について</li> <li>・2022年度教育実習および介護等体験の実施について</li> <li>・2022年度教育実習および介護等体験の参加予定者数について</li> <li>・2022年度教育実習巡回指導(旅費交通費精算関係)について</li> <li>・教職支援スケジュールについて</li> <li>・中京大学教師教育論叢について</li> <li>・教職履修カルテの確認について</li> <li>・教職課程自己点検・評価について 等</li> </ul>
2	2022年11月23日(水)	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2023年度教職センター委員会開催日程(案)について</li> <li>・教職課程自己点検・評価について</li> <li>・教職課程で使用する機器について</li> <li>・2022年度教員採用試験結果報告について</li> <li>・2021年度教職センター活動報告(公開)について</li> <li>・人文社会科学研究科教職課程申請について</li> <li>・教育委員会連携について</li> <li>・中京大学教師教育論叢について 等</li> </ul>
3	2023年2月22日(水)	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度全学委員会点検・評価報告書について</li> <li>・教育委員会連携について</li> <li>・介護等体験について</li> <li>・教育実習記録指導教諭記入欄について</li> <li>・2022年度教員採用試験結果報告について</li> <li>・人文社会科学研究科教職課程申請について 等</li> </ul>

(2) 教職センター会議

回	日時	場所	議題
1	2022年4月20日(水)	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職センター目標設定について</li> <li>・2022年度教育実習および介護等体験の実施について</li> <li>・愛知教育大学教職大学院連携協定締結について</li> <li>・教職課程自己点検・評価について</li> <li>・「中京大学教師教育論叢」の刊行に関して</li> <li>・欠席届(教育実習)について</li> <li>・教員採用試験対策イベントについて 等</li> </ul>
2	2022年7月27日(水)	メール会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程自己点検・評価(理念等の確認)の進捗について</li> <li>・教育実習中のSNSの扱いについて</li> <li>・愛知教育大学との教員養成の高度化に関する連携協定について</li> <li>・教育委員会連携について</li> <li>・教員採用試験対策イベントについて</li> <li>・教職課程に必要な環境について意見聴取</li> <li>・「障害のある学生の教育実習における合理的配慮に関する対応マニュアルとチェックリスト」について 等</li> </ul>
3	2022年11月2日(水)	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職課程の自己点検・評価について</li> <li>・教職課程に関する機器等について</li> <li>・2022年度教員採用試験結果報告について</li> <li>・2021年度教職センター活動報告(公開)について</li> <li>・人文社会科学研究科教職課程申請について</li> <li>・教育委員会連携について</li> <li>・教職関係イベントについて 等</li> </ul>
4	2023年2月15日(火)	オンライン会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2022年度全学委員会点検・評価報告書について</li> <li>・「中京大学教師教育論叢」の刊行に関する申し合わせについて</li> <li>・教育委員会連携について</li> <li>・教育実習記録指導教諭記入欄について</li> <li>・介護等体験について</li> <li>・教職課程自己点検・評価シート&lt;全学用&gt;</li> <li>・2022年度教員採用試験結果報告について</li> <li>・人文社会科学研究科教職課程申請について</li> <li>・令和5年度東京都立学校教員採用候補者選考方法について 等</li> </ul>

# 中京大学から教育現場へご提供できるコンテンツ一覧(2022年度版)

受講対象		分野	学部	内容	担当教員	実施可能時期
小・中学生中心	小学校(低学年)	体育系	スポーツ科	多様な運動体験教室	中野貴博	6月
	小学生	体育系	スポーツ科	なわとび体験学習	野田智洋	1月
	小学生	体育系	スポーツ科	作って遊ぼう！投運動	加納 裕久	2月
	小学生・中学生向け	体育系	スポーツ科	体育実技指導【水泳】	草薙健太(水泳部コーチ)	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	スポーツ科	体育実技指導【バスケットボール】	松藤貴秋(バスケットボール部部长・監督)	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	スポーツ科	体育実技指導【ハンドボール】	船木浩斗(男女ハンドボール部監督)	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	スポーツ科	体育実技指導【サッカー】	大家利之(女子サッカー部監督)	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	スポーツ科	体育実技指導【ラグビー】	中本光彦(ラグビー部部长・監督)	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	スポーツ科	体育実技指導【ソフトボール】	二瓶雄樹(男女ソフトボール部部长・監督)	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	スポーツ科	体育実技指導【柔道】	三宅恵介(柔道部部长・監督)	応相談
	小学生・中学生向け	体育系	スポーツ科	体育実技指導【ダンス】	和光理奈(ダンス部部长・監督)	応相談
	小学校(中～高学年)	心理系	心理	私を表わす おと・いろ・かたち	馬場史津	応相談
	小学校(低学年)	心理系	心理	アートワークショップ(からだを感じよう)	西尾千尋	応相談
小学生高学年、中学生向け	人文系	教養教育研究院	多文化共生社会と多文化教育について考える。	アルファロ・フランシスコ	2月	
小・中心・高生	小学生高学年、中学、高校生向け	人文系	国際学部	日本漫画・アニメの外国語翻訳版を読んでみよう(人気作品の英語翻訳版を題材に、外国語を学ぶ楽しさを体験させる。なお、児童生徒の学習段階に合わせた教材を準備する)	明木茂夫	応相談
	小学校高学年、中学生	教育系	教養教育研究院	友達とのつき合い方 (いじめ、アサーション、相談援助などの観点から講演する)	小川翔大	応相談
	小、中、高校(1年～2年生)	理系	工	プログラミング演習、ロボットやAIに関する講演、簡単なロボット作成等 学校現場等での学習方針や学習ツール(システム環境)に応じた教育活動のニーズ合わせ内容の調整可能。 大学へ来校いただいでの実施も可能。	要相談	応相談
中・中心・高生	中学生・高校生向け	社会系	法	「国境」で読み解く日本史	古川浩司	応相談
	中学生・高校生向け	社会系	法	契約の基礎知識、消費者保護のしくみ	杉島由美子	応相談
	中学生・高校生向け	人文系	教養教育研究院	日系イギリス人作家カズオ・イシグロの作品から入る英語文学の世界および同時代の社会問題	榎正行	応相談
	中学生・高校生向け	教育系	教養教育研究院	勉強が好き／嫌いになる仕組み (心理学の理論をもとに、これまでの学習経験を振り返る)	小川翔大	応相談
教員中心	教員・保護者・高校生向け	人文系	教養教育研究院	判断力の教育方法(原発の是非に関する総合的判断力教育、ワクチン接種の是非判断のためのリスク教育)	楠美順理	応相談
	教育委員会(教員)向け	保健系	スポーツ科	熱中症予防について	松本孝朗	応相談
	教員・保護者向け	人文系	教養教育研究院	多文化背景を持つ児童生徒(外国人児童生徒)への教育支援のあり方を考える。	三浦綾希子	応相談
	教員・保護者向け	人文系	教養教育研究院	子どもの自尊感情を育む教育的支援 (保護者には子どもへの関わり方を、教員には心理学理論と最新知見を解説します)	小川翔大	応相談
	教員・中学生向け	人文系	教養教育研究院	社会科または道徳科における「ホロコースト」や杉原千畝について学ばせる教材や指導法を提供する。 (ポーランドやリトアニアを訪問した際の写真、米国のホロコースト教育を行うNPOの教材など。)	原口友輝	応相談
	教員向け	人文系	教養教育研究院	地図帳中国地名カタカナ表記の研究(教科書や地図帳の中国地名はなぜ中国語読みカタカナとなっているのか、授業や受験指導ではどう扱えばよいのかなどについて考える)	明木茂夫	応相談
	教員向け	教育系	教養教育研究院	学校におけるICTを活用した学習指導の方法(ICTの利活用要件)等について。 事前に教育方針や学習ツール(学校に導入されているシステム環境等)をお伺いし、講演内容等をご調整させていただきます。(状況によってはツール導入業者様等とも調整させていただくこともあります。)	小嶋季輝	応相談
	教員向け	心理系	心理	青少年の自殺予防	川島大輔	応相談
	教員向け	社会系	法	日本の領土教育を考える	古川浩司	応相談
	教員向け	社会系	法	契約の基礎知識、消費者法の基礎知識	杉島由美子	応相談
教員・保護者向け	社会系	法	(1)生命倫理(バイオエシックス)と法(「いのちの教育」など) (2)障害児・者の福祉と法律	保条成宏	応相談	



## 中京大学の学生へご講演いただきたい内容一覧(2022年度版)

学部	授業科目名	授業担当者	実施時期	希望講義内容
スポーツ科	体育科教育法Ⅱ	杵子耕一	10～12月	●保健体育教員としての資質能力の向上についての講演「学校現場を知る」
教養教育研究院	教職実践演習(中・高)	教養教育研究院 教職グループ	12月土曜日	●教師への入り口という位置づけの講演(八事キャンパス/豊田キャンパス) 「教師の魅力、学校現場から見える子どもや社会の状況、学校現場の取り組みについて」(1時間程度)

## 2022年度 名古屋市・豊田市教育委員会連携出前授業実績

### 中京大学⇒教育委員会

委員会名	学校名	対象	内容	日程（予定）	学部	担当	備考
名古屋市教育委員会	名古屋市立藤が丘小学校	小学生	多様な運動体験教室	2022年6月11日	スポーツ科学部	中野先生	土曜学習プログラム
名古屋市教育委員会	名古屋市立八事小学校	小学生	なわとび体験学習	2023年1月28日	スポーツ科学部	野田先生	土曜学習プログラム
名古屋市教育委員会	名古屋市立自由ヶ丘小学校	小学生	作って遊ぼう！投運動	2023年2月18日	スポーツ科学部	加納先生	土曜学習プログラム
名古屋市教育委員会	教育センター	名古屋市立高校進路指導	高等学校における生徒指導の諸課題	2022年10月5日	教養教育研究院	照本先生	研修講師派遣
名古屋市教育委員会	名古屋市立富田高等学校	富田高等学校の図書委員	日本漫画・アニメの外国語翻訳版を読んでみよう－漫画翻訳論－	2022年11月2日	国際学部	明木先生	
豊田市教育委員会	豊田市立東保見小学校	5年、6年	ダンスの実技指導	2022年10月26日	スポーツ科学部	和光先生	
豊田市教育委員会	豊田市立東保見小学校	特別支援	多様な運動体験教室	2023年2月15日	スポーツ科学部	中野先生	
豊田市教育委員会	豊田市立堤小学校	1年	多様な運動体験教室	2022年12月21日	スポーツ科学部	中野先生	
豊田市教育委員会	豊田市立堤小学校	2年	なわとび体験学習	2022年12月12日	スポーツ科学部	野田先生	
豊田市教育委員会	豊田市立堤小学校	1年、6年	なわとび体験学習	2023年1月20日	スポーツ科学部	野田先生	
豊田市教育委員会	豊田市立東保見小学校	1年、2年、3年	なわとび体験学習	2023年1月19日	スポーツ科学部	野田先生	
豊田市教育委員会	豊田市立東山小学校	4年	なわとび体験学習	2023年1月16日	スポーツ科学部	野田先生	
豊田市教育委員会	豊田市立加納小学校	4年、5年、6年	なわとび体験学習	2023年2月9日	スポーツ科学部	野田先生	

### 教育委員会⇒中京大学

委員会名	講演者	内容	対象	日程	学部	備考
名古屋市教育委員会	伊藤 潤氏	教職実践演習講演会	名古屋キャンパス教職履修者4年生	2022年12月10日	教養教育研究院	対面形式
豊田市教育委員会	松元 智道氏	教職実践演習講演会	豊田キャンパス教職履修者4年生	2022年12月17日	教養教育研究院	オンライン形式（ZOOM）